

8 ヶ月間を振り返って

八女支部 八女県土整備事務所 鶴園 巧

入庁して 8 ヶ月が過ぎ、さまざまなことを体験してきました。この 8 ヶ月間で学んだことを書いていきます。

① 研修で学んだこと

私が最初に受けた研修は、土木の新規採用職員を対象に行われた土木研修でした。研修は配属の次の日から 3 日間行われ、電算システムの使い方や設計書の作り方、積算の考え方などを教わりましたが、当時、まだ何も分からない状態で受けた研修は、初めて聞く用語が多く、ほとんど説明を理解できませんでした。その後、4 泊 5 日の新規採用職員研修があり、仕事に取り組む姿勢や、新採としてあるべき姿などを学びました。

私が、その研修以降心がけているのは、仕事をこなすスピードが遅くても分からないことはとことん聞き、一つ一つをしっかりと理解する、ということです。

それから、私は自分の業務に少しでも関係のある内容の研修には、積極的に参加しました。初めのうちは、やはり説明が理解できないことも多かったのですが、理解できないながらもしっかりと話を聞き、メモを取り、後から調べて分かるように努めました。段々と話の内容が理解できるようになってからは、研修がより楽しいと感じるようになりました。さらに、研修で学んだことを日々の業務で活かせたときは、仕事を楽しいと感じられるようになりました。

この経験から、仕事を「こなす」より「覚える」ことを、より一層意識するようにしています。そうすることで、楽しく仕事ができ、より意欲的に仕事ができると、学ぶことができました。

② 業務内容

私は県土整備部に所属しており、主な仕事は、道路工事の発注や施工管理業務です。住民からの苦情や、予算の都合で施工範囲を変更し、業者のやり方に問題がある場合など、工事の途中で業者に指示をすることです。今まで普段から身近にあった道路が仕事になるといふいろいろな目線で見られるようになり、多少ではありますが今まで気づかなかった所に気がつけるようになりました。

仕事に関しては、まだ解らないことだらけで、これから先のことに不安はありますが、一つ一つ焦らず覚えていき、先輩たちに迷惑のかけないようにしていきたいです。

自分もあと数ヶ月で後輩ができるかもしれないので、恥をかかないよう、いろいろなことを先輩たちに聞き、盗んでいって、仕事に励み続けていきたいと思えます。

③ これからの抱負について

8カ月の県職員生活を経て、スケジュール管理の大切さを感じました。多くの仕事に追われる中で、仕事の期限や重要度からどの仕事をいつやるべきか、ということ判断しなければなりません。私は、スケジュール管理を意識的に行っていなかったため、期限ギリギリになってやらなければならないことに気が付く、ということが何度もありましたが、後期新採研修で、仕事の期限だけではなく取り掛かりの日をスケジュール帳に記入するやり方を教わり、今はそのようにして管理することを心がけています。

これからもたくさんの仕事があると思いますが、仕事とプライベートの両立のため、そして、この二つをより充実させるためにも、スケジュール管理を私の最重要課題として取り組んでいきたいと思っています。

④ 最後に

県職員となり環境が大きく変化しました。これから先の県職員生活は、苦しい事もあると思いますが、たくさんの楽しみもあると思います。

それを交互を繰り返していきながら、充実した県職員生活を送っていき、日々努力して一人前の社会人になりたいと思います。